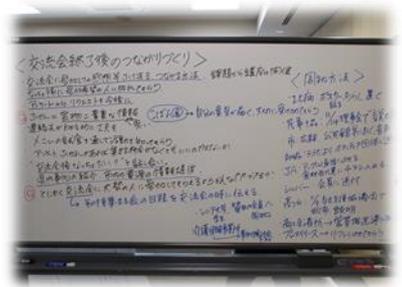


【10月4日、第10回なかのなっちょ隊】

この日は、説明会や大交流会当日の流れについて確認しました。

この日までに出店希望のある団体は11団体でした。

さらに出店団体が増えるよう、また、大交流会当日に多くの方に参加いただけるよう、今後も各団体の会議の場や、広報紙等で更に周知していくことも確認しました。



また、大交流会で生まれたつながりが途切れることの無いよう、年度内になかのなっちょ隊と地域の皆さんとが一緒に話し合える場を設けることも決まりました。

【10月29日、支え合いの地域大交流会出展説明会】

この日は23団体、36人の方々にご参加いただきました。

まず始めに、大交流会を開催するに至った経緯と、なかのなっちょ隊について説明をさせていただきました。

そして、大交流会共催団体である長野県長寿社会開発センターより、長野地区で行われている交流会について説明いただきました。



大交流会の場で活動をアピールする目的は「単に新規メンバーの募集」ということだけでなく、

- アピール媒体を作る中でこれまでの活動を振り返り、改めて活動の目的をメンバーと再確認できる。
- 他団体と活動の情報を交換することや、つながり作りができることで、自団体の活動の充実を図れる。
- 他団体の活動を知ることや、自団体の活動を称賛されることで、活動継続への意欲が改めて持てる。

といった意味合いがあることをお聞きしました。



説明会前は出展についてためらいのあった団体も今回の参加を機に「出展したい」というお言葉をいただきました。

11月26日支え合いの地域大交流会が、『地域のつながりづくり』『地域活動の充実』『支え合いの地域づくりを考えるきっかけ』として、有意義な場となればと感じました。

中野市高齢者支援課
生活支援コーディネーター:小島杏子
電話:22-2111(内線 366)